

第59回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

1 開催日 2023年 5月25日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名

3 今回の季語 五月(皐月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 *写真をみて一句!を試行してみる。



鯉のぼりと富士

- ・山頂下湧水すくう夏登山
- ・鯉のぼりぽつんと泳ぐ老いの町
- ・白き足並ぶ足湯や五月晴れ
- *美しさ競う沼地の花菖蒲
- ・葉を洗う緑雨のめぐみ目にうれし
- ・マスクをとり新緑の風頬なでる
- ・音もなく新緑写す池の朝
- ・空の青もみじ若葉や東福寺
- *菖蒲湯や今人生のどのあたり
- *すつと立ち優雅に澄ます花菖蒲
- ・川風にそよぎて眩し夏柳
- ・母の日に一輪渡し笑顔増す
- ・青々と空映りて池若葉
- ・雨の朝独り昨日の豆の飯
- ・友と逢い五月の風にほほゆるむ
- ・近江いなか我田引水田植え前
- ・衣替え昨日と違う風ゲット
- ・十才も若く言われて五月晴れ
- ・鯉幟風の旨しと太りけり
- ・嵐過ぎ大気鎮まる初夏の夕
- ・入学娘の制服パンツ多様性
- ・雨あけの小枝ちらばる梅雨寒路
- ・しぶき浴ぶ子等の歓声夏はじめ
- *泥水もめげず咲きたる花菖蒲
- *菖蒲湯や老いの肌溶け喜寿返し
- *総立ちて水辺を染める花菖蒲

*写真で一句!
兼題: 菖蒲園



5 講評・添削披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・マスクをとり新緑の風頬なでる

※マスクは冬の季語であるが、コロナ渦でのマスクが常用されたことにより季語としての意味がなくなりました。

※助詞の使い方注意!

・母の日に一輪渡し笑顔増す

・鯉幟風の旨しと太りけり

※ 比喩上手!

・菖蒲湯や今人生のどのあたり

<風呂に浮かぶ菖蒲と自信との比喩>

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・夏テニス満腹にして深屋寝

夏の季語

3) 意味重なり!

・雨あけの小枝ちらばる梅雨寒路

6 次回(#60)開催日 2023年 6月22日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 六月(水無月)の季語全般

写真で一句.. :紫陽花

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!

選外句

- ・鯉のぼり尾を舞い上げし強き風
- ・母と子が見上げる先の鯉のぼり
- ・初夏衣気温差ありて長短や
- ・茄子植えてだらり葉を垂れ生命水
- ・春風に臓器の如く揺らぐ木々
- ・五月雨や週末いじめ嘆く子ら
- ・友達に書いて絵手紙花菖蒲
- ・ミニ兜ほ一むらんの度孫かぶる
- ・五月晴れ都会の夜空星六つ
- ・夏テニス満腹にして深屋寝
- * 花菖蒲残雪まとう白山と
- * 遠近に菖蒲色どり風かおる
- * 木道に小紫舞う花菖蒲
- * しとやかな気品に咲きし花菖蒲